

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、20人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。  
(一)内には、各党派等からの質問申し出時間を記載していません。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	5人	330分
公明党	4人	210分
市民連合	2人	145分
日本共産党	2人	145分
誠友会	3人	145分
新政クラブ	1人	70分
無所属	3人	各30分

\*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



高田 健司  
水曜会 (80分)

## 市長の政治姿勢は

**問** 市政運営2年間の取り組みと今後の思いは。

**答** 市長就任時に5つの挑戦を掲げ、1年目を実行の年、2年目は加速の年として、職員一丸となりスピード感を持って取り組んできました。主には、福山駅前の再生や子育て支援の充実に向けた取り組み

み「ばらのまち福山国際音楽祭」の開催、福山城築城400年に向けた機運の醸成などで、車座トークなどの現場主義の取り組みではニーズを把握し、施策へ反映してきました。

残り2年の任期は、特に次代を担う子どもの健やかな成長への支援に力を注ぎ、また、頻発する自然災害への備えを万全にするため安心・安全なまちづくりに向けた取り組みも強化していく。引き続き、10年先、20年先の福山の姿を見据え、市政運営に全力で取り組み

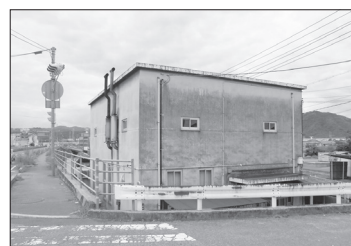


今岡 芳徳  
水曜会 (40分)

## 都市型排水施設の新設は

**問** 排水施設には、上下水道局所管の都市型と、土地改良区や農林部所管の農業用がある。本市の市街化が進む現状や今後の浸水対策を考えると、都市型の雨水排水施設の新設が必要では。

**答** 今回の豪雨災害を受け、農



排水機場

区で構成する「福山市域における浸水対策協議会」で検討する。

業用排水機場により雨水を排水している地域については、浸水状況や既存排水機の能力などを緊急に検証し、農業用排水機の能力不足を補完する都市型の雨水ポンプ場の新設や水路整備などの有効な対策を、国、県、市および土地改良



大田 祐介  
水曜会 (70分)

## 芦田川の治水対策は

**問** 河口堰の存在により流下障害が生じ、堆砂が進み河床が上昇している。今回の豪雨災害で一層河床が上昇したが、今後の対応と河口堰の利水と治水のバランスの取り方は。

**答** 芦田川の河川内には土砂の堆積をはじめ、繁茂した樹木など

が多く存在し、芦田川の本来の流下能力を阻害しており、7月豪雨を受けて状況はさらに悪化している。早期に治水安全度を回復、向上させるため、堆積土や樹木の撤去などを緊急的に実施するよう国に強く要望した。

河口堰は、洪水を安全に流下させる治水機能と、工業用水を供給するための利水機能を併せ持っている。今後、河口堰がより一層の治水機能を発揮できるよう、せき操作の柔軟な運用について、国に働きかけていく。

\* 9月定例会の一般質問の録画放送を見る場合  
福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。